

くらいき

ItakoCityCouncilNews



四市議会親睦交流グラウンドゴルフ大会

市議会議員長

新年のあいさつ



潮来市議会議員長
小 峰 進

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。年頭にあたりまして、潮来市議会を代表して謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

私は、昨年2月より議員各位のご推挙をいただき、議長という大役を仰せつかりました。その職責

の重さを認識しつつ、公平公正な議会運営を目指して、誠心誠意努めてまいりました。新年を迎え、あらためて、市民の皆様と議員各位のご指導とご協力に對して、感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、大規模な自然災害や国際情勢等の悪化による世界的な物流の混乱や加速する円安などにより、原油や原材料、食料価格が高騰するなど、市民生活に大きな影響を及ぼした年でありました。

また、水郷潮来あやめまつり大会を始めとした様々

なイベント等が本格的に再始動し、以前の賑わいや活気が戻るなど大変喜ばしい年であったとも思っております。

市議会においては、議会改革調査特別委員会の設置やICT化の推進に取り組む、多様化する市民ニーズに對してまいりました。市民の皆様方におかれましては、引き続き議会に對し、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年は巳年です。「脱皮して、以て、大蛇となる」と申します。輝かしい新年が皆様にとって、そして潮来市にとって良い年でありますことをご祈念申し上げ年頭のあいさつとさせていただきます。

市議会はみなさんのパートナー

私たち議員は、市民の代表として、みなさんが住みやすいまちにするためにより良い政策を市が行えるよう主に以下のような活動をしています。

聴く・伝える

皆さんの声に耳を傾け、まちづくりに関する情報や議論の経緯を伝えます

提 案

みなさんの声を市政に反映できるように提案します

チェック

本議会や委員会にて、市が提出する提案等を審査します



令和6年 第4回12月定例会 審議議案と議決結果

■会 期：12月3日～12月20日（18日間）
 ■審議議案等：計29件（議案：16件 追加議案等：13件）

専決処分 1件	
専決処分事項の承認を求めることについて（令和6年度潮来市一般会計補正予算（第5号））	承認
条例改正 8件	
潮来市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部改正について	可決
潮来市手数料徴収条例の一部改正について	可決
潮来市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	可決
潮来市運動施設条例の一部改正について	可決
潮来市職員の給与に関する条例の一部改正について（追加議案）	可決
潮来市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について（追加議案）	可決
潮来市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について（追加議案）	可決
潮来市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について（追加議案）	可決
補正予算 9件	
令和6年度潮来市一般会計補正予算（第6号）	可決
令和6年度潮来市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
令和6年度潮来市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
令和6年度潮来市一般会計補正予算（第7号）（追加議案）	可決
令和6年度潮来市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）（追加議案）	可決
令和6年度潮来市介護保険特別会計補正予算（第3号）（追加議案）	可決
令和6年度潮来市水道事業会計補正予算（第1号）（追加議案）	可決
令和6年度潮来市工業用水道事業会計補正予算（第1号）（追加議案）	可決
令和6年度潮来市下水道事業会計補正予算（第1号）（追加議案）	可決
指定管理者の指定 6件	
公の施設の指定管理者の指定について（潮来市心身障害者福祉センター）	可決
公の施設の指定管理者の指定について（潮来市立潮来ヘルスランドさくら）	可決
公の施設の指定管理者の指定について（水郷潮来バスターミナル駐車場）	可決
公の施設の指定管理者の指定について（潮来市立水郷ましかどギャラリー）	可決
公の施設の指定管理者の指定について（潮来市立市民プール）	可決
公の施設の指定管理者の指定について（潮来市立図書館）	可決
その他 2件	
鹿行広域事務組合規約の変更について	可決
鹿行広域事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	可決
同意 3件	
潮来市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（追加議案）	同意
潮来市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（追加議案）	同意
潮来市公文書開示・個人情報保護審査会委員の任命につき同意を求めることについて（追加議案）	同意

▼賛否が分かれた案件 ○＝賛成 ×＝反対 ※16番小峰議員は、議長のため採決には加わりません。

議案：令和6年度潮来市一般会計補正予算（第6号）

結果	1 黒須 俊行	2 鴛田 正信	3 吉川 利一	4 和田 直子	5 佐々 木徹	6 志村 一	7 石田 裕二	8 阿部 慶介	9 兼平 直紀	10 飯田 幸弘	11 平田 健三	12 箕輪 昇	13 飯島 康弘	14 田崎 清	15 小沼 英明	16 小峰 進
可決	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	

議案ピックアップ | 気になる議案をチェック

潮来市手数料徴収条例の一部改正について 主なものを一部紹介

■環境課

証明書名	手数料 (旧料金)
狂犬病予防注射済票	550円 (350円)

■税務課

証明書名	手数料 (旧料金)
土地に関する証明	300円 (200円)
建物に関する証明	
資産に関する証明	
納税に関する証明	
課税に関する証明	

■市民課

証明書名	手数料 (旧料金)
印鑑に関する証明	300円 (200円) ※但し印鑑再登録手数料は500円
印鑑登録証	
住民票の写し	
戸籍附票の謄抄本	
住民票の記載事項に関する証明	
広域交付住民票	
独身に関する証明	



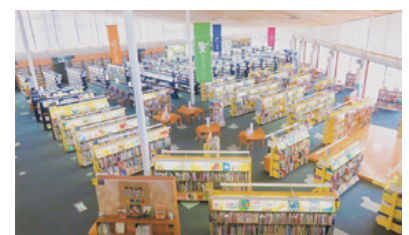
潮来市運動施設条例の一部改正について

施設名	使用区分	使用料	
		市内(旧料金)/時間	市外(旧料金)/時間
日の出運動広場庭球場	1面	455円 (239円)	682円 (358円)
前川運動公園サッカー場 多目的広場 芝生広場	1面	1,500円 (1,000円)	2,250円 (1,500円)
かすみの郷公園			
前川運動公園サッカー場 芝生広場	半面	750円 (500円)	1,120円 (750円)
かすみの郷公園			



公の施設の指定管理者の指定

施設の名称	指定する団体の名称	指定の期間
潮来市心身障害者福祉センター	社会福祉法人 潮来市社会福祉協議会	令和7年4月1日から 令和12年3月31日
潮来市立潮来ヘルスランドさくら	株式会社ビート	
水郷潮来バスターミナル駐車場	株式会社いたこ	
潮来市立水郷まちかどギャラリー	特定非営利活動法人 水美研	
潮来市立市民プール	株式会社 全日茨城	
潮来市立図書館	シダックス大新東 ヒューマンサービス株式会社	





一般通告質問

一般通告質問とは、議員が市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針などに質問をしたり、報告や説明を求めることです。

吉川 利一 議員 P.6

- 1 令和5年度の決算書について
- 2 新設道路の進捗状況について
- 3 旧牛堀片舎跡地周辺と町民プール跡地利用計画について
- 4 あやめ祭りと水郷花火大会について
- 5 なめがた地域医療センターについて
- 6 イノシシ対策について

飯島 康弘 議員 P.8

- 1 公用地の跡地利用の進め方について
- 2 産婦人科の誘致について
- 3 コミュニティスクール(CS)制度について

阿部 慶介 議員 P.10

- 1 市民の皆様に市の情報の配布・発信を
- 2 まちおこしと、買い物弱者を救う移動スーパーには地域おこし協力隊が必要！

石田 裕二 議員 P.12

- 1 (仮称)麻生IC周辺開発について
- 2 潮来IC周辺開発について

田崎 清 議員 P.14

- 1 なめがた地域医療センターについて
- 2 潮来インター周辺の開発について
- 3 イノシシ対策について

佐々木 徹 議員 P.16

- 1 5年後の中学校の統合一校化校地はどこに？
- 2 改めて津知小学校の跡地利用について考える
- 3 日の出地区コミュニティの現状について
- 4 103万円の壁について

黒須 俊行 議員 P.18

- 1 潮来市デイサービスセンター白鳥の今後の方針について
- 2 地域防災に関わる避難行動要支援者の個別避難計画について
- 3 敬老会事業について

小沼 英明 議員 P.7

- 1 コミュニティバス実証運行について
- 2 潮来市地域連携拠点整備基本構想、ロッセマリーズ本拠地誘致について
- 3 財政状況について
- 4 各基金について

鴛田 正信 議員 P.9

- 1 市長3期10年の成果について
- 2 潮来市の観光と潮来祇園祭について
- 3 潮来市の災害対策について

和田 直子 議員 P.11

- 1 潮来市DX推進計画の進捗状況は？
- 2 八代小学校跡地クリニック開業時期とその後の跡地利用の方針は？
- 3 こども真ん中社会実現に向けて

兼平 直紀 議員 P.13

- 1 給食費無償化以降の学校給食について
- 2 潮来市の令和7年度の予算編成方針について
- 3 部活動の地域移行に関し、補助金支援体制について

平田 健三 議員 P.15

- 1 「期日前投票所」の増設を！
- 2 「軟骨伝導イヤホン」の導入を！
- 3 AED(自動体外式除細動器)の普及拡大を！
- 4 耳で聞く「ハザードマップ」の導入を！
- 5 「こども誰でも通園」制度について

志村 一 議員 P.17

- 1 公共交通空白地域を回るコミュニティバス実証運行について
- 2 潮来市立図書館駐車場への車両の出入りについて
- 3 増え続けるイノシシへの対応について

数字の横に「➤」が付いていないものは、紙面の都合上掲載できませんでした。
6ページから18ページにありますQRコード(議員氏名隣)を読み取ると、映像で視聴いただけますので、ぜひご覧ください。

一般通告質問 気になるQ&A

令和5年度の決算書について伺う

問 各部の不用額を合計すると10億円を超える額となっているが、その理由と、改善のためにどのような施策を行うのか伺う。

答 榊原総務部長

一定規模の財政調整基金繰入金及び繰越金予算を当初から計上している点も要因の一つ。財政調整基金及び繰越金予算を減らし、精度の高い予算編成に取り組んでいるところである。
経常経費の削減も視野に入れた徹底的な事務事業の見直しと執行実績による予算削減を目指している。また、年度末となる3月定例会においては、不用額の積算による補正予算を提案する予定である。

問 今年の3月に市は補助金の10%をカットした。しかしその時点で不用額が出るのは想定さ

れているはず。そのような不用額の実態を知った上で10%カットに踏み切ったのか。

答 榊原総務部長

補助金の10%の削減と不用額については直接的な関係はない。

なめがた地域医療センターについて

問 なめがた地域医療センターの病院施設維持を求める請願書が出されたが、これについて市としての見解を伺う。

答 実川市民福祉部長

請願書については潮来市議会に提出されたものであり、市としての考えはない。

再問 市長に伺う。当該センター

には累計3億4,000万円近く支出しているが、行方市には施設規模を縮小し、施設の半分を行方市の庁舎にする計画があるという。支出をした市としてどのような見解を持っているのか。

答 原市長

規模縮小後の調整においては、厚生連、行方市及び県が協議調整をしている。隣接自治体の責任として今後も負担金を支出し、医療提供体制の充実が図られるよう、関係機関と協力しながら努めていきたい。

イノシシ対策について

問 イノシシによる被害状況と駆除の対策について伺う。

答 沼田環境経済部長

被害については甘薯の食害、水稻の倒伏被害、トウモロコシの食害が令和3年より報告されている。駆除対策として潮来猟友会に捕獲、駆除を委託している。

問 後継者育成も必要と考える

がどのような状況か。

答 篠塚農政課長

現在猟友会では12名が活躍しているが、高齢化、担い手不足



は課題として認識している。調査研究をしていきたい。



よしかわ り いち
吉川 利一

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

コミュニティバス 実証運行について

問 今回の新たなルートはどの様に検討されたのか？

答 榊原総務部長

広域路線バス2路線が運行していない公共交通空白地域を主な対象とし、コンパクトなワゴンタイプの車両を使用し、きめ細かな移動ニーズに対応した通行ルートとして検討した。

問 タクシー会社4社の運行、実証実験の契約は？

答 榊原総務部長

潮来市地域公共交通活性化協議会が委託者となり株式会社アルメックと業務契約を結びアルメックがタクシー会社4社に再委託している。

問 今後実証実験を他の地区でも行うのか？

答 榊原総務部長

他地区で実証実験を行う予定はないが、今回の成果やアンケートの結果を基に利便性が高く皆様に利用いただける公共交通をめざす。

潮来市地域連携拠点 整備基本構想、ロッテ マリーンズ本拠地誘致 について

問 デロイトトーマツから7/1より企業立地戦略室に所属した社員の役割と契約期間と報酬を伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

所属した社員は、市と各企業とのパイプ役を担っていた。派遣期間は本年7/1翌年3/31までの9か月間、制度上3年間まで可。今年度分の負担は420万円、負担金については全て国の特別交付税措置の対象で持ち出しは無い。

問 ロッテマリーンズファーム本拠地誘致に関わるスケジュールや立ち位置は？

答 酒井企業立地戦略室長

誘致の対象区域は市として公表していない。現時点で潮来市を含む4つの自治体で選考に残っているが、今年度中に何らかの形で移転先が発表されると認識している。

問 地域連携拠点整備基本構想の対象地について、60haという莫大な土地は本当に必要なのか？

答 酒井企業立地戦略室長

現段階で考えうる最大値の面積として示しているもの、今後の検討状況に応じ最終的な面積を確定して参る。

財政状況について 伺う

問 財政力指数が年々悪くなるのは何故？

答 榊原総務部長

年々基準財政需要額が増加傾向にあり、それを賄う為の基準財政収入額が増加傾向にない状況にあるため。

問 経常収支比率は昨年9.1ポイント悪化している。なぜか？

答 榊原総務部長

コロナ禍があげて通常の事業執行に戻り人件費、扶助費などの義務的経費が5%増加し経常収支比率が増加した。

問 将来負担比率が平成26年に8.8、平成27年に9.0だったものが平成28年には48.7、令和3年には69.0昨年48.3と極めて高い数字。なぜか？

答 榊原総務部長

交付税算入率の高い合併特別債の減に伴うものである。

再問 都市計画税の廃止と給食費の無料化の影響でないのか？

答 下河財政課長

都市計画税を廃止したこと、将来負担比率は上がるが、市税やふるさと納税が増加し、影響はないと考える。給食費においてもカバーできていると考える。

答 原市長
将来負担比率が40数%になっ

ても当時より財政が悪くなったとは考えていない。令和7年度から先行的な投資はやるべきことはやる。事務事業の見直し、新たな財源確保も行う。

基金について

問 一般財源基金・特別会計基金共に多くの基金が取り崩されている（一般財源—2億8,179万8,819円・特別会計—7,929万6,033円）基金の積み直しは可能なのか？

答 榊原総務部長

3月定例会での補正予算において不用額による減額補正をし、財政調整基金繰入金金の圧縮に努め、他の基金については優先順位をつけて積み立てたい。

答 実川市民福祉部長

特別会計の基金については現段階での基金の積み戻しの見込みはない状況である。



質問者 小沼 英明



一般通告質問 気になるQ&A

公用地の跡地利用の進め方について

問 市の基本的な考え方は。

答 榊原総務部長

公共的視点での跡地の活用、そして民間活力導入も視野に入れた地域に貢献する場所になることを目指している。そのためには持続可能なものであること。市の発展を見据え地域に理解を得ながら進めていきたい。

問 統合後の津知小学校用地については測量業務が行われているが、進め方が非常にわかりづらい。詳細を問う。

答 榊原総務部長

令和5年度事業として「^{※1}地形測量Ⅱ現況測量」を行った。
令和6年度事業として「^{※2}用地測量Ⅱ確定測量」を行う予定。

※1 地形測量とは、現地において測量機を用いて地形、地物等を測量し、数値地形図データを作成する作業。

※2 用地測量とは、隣接する土地の境界等を調査確認し、土地の正確な面積を求める作業。

産婦人科誘致について

問 妊産婦や子育て世帯が安心して生活を継続できるよう、切れ目のない支援を行うとうたっているが産婦人科施設がない。どう考えるか。

答 酒井企業立地戦略室長

市内に不足している専門の診療科目「小児科」「産婦人科」「循環器科」を選定し特定医療機関誘致助成事業として募集を行っている。

答 実川市民福祉部長

「循環器科」の誘致には成功した。引き続き「産婦人科」＋「小児科」の誘致も市民の医療福祉の改善につながると考え前向きに取り組んでいきたい。

※3 コミュニティスクール(CS)制度について

問 潮来市のCSに対するビジョンは。

答 大崎生涯学習課長

「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を目指し、ビジョンとして掲げている。

問 統合を視野に入れた制度になっているのか。

答 大崎生涯学習課長

小・中学校統合については、それぞれに統合準備委員会を設置し協議を進めている。今後、CSにおいても統合に向けた協議が必要となる。適切な時期に協議していきたい。

問 CS制度自体が認知されていない、参加いただける方々の協力が無駄にならぬように意味のあるCS協議会になるよう求めるが如何か。

答 大崎生涯学習課長

学校や協議会委員の皆様と熟議を重ね、地域の子もたちのために目的意識をもってしっかりと前に進めていきたい。

※3 コミュニティスクール(CS、学校運営協議会制度)とは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み。学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる。



いいじま 飯島 康弘

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

市長3期10年の成果について

問 原市長は、市長になってから3期目に入り10年が経った。市長1期、2期、3期目の中、たくさんある決意の中で、潮来を国際観光で100万人誘致、都市計画税廃止で人口1,000人増、住みたいまち潮来と謳っているが、その達成成果を伺う。

答 榊原総務部長

これまでの約10年にわたる様々な取り組みについては、重点道の駅、水郷バスターミナル整備、新たな賑わいの拠点として水郷旧家磯山邸及び津軽河岸周辺整備、都市計画税の廃止をする事が出来た。これまでも子育て支援サポート事業として、将来を担う子供達の健やかな成長のため、切れ目のない細やかな子育て支援の充実を図っている。また、今後も市民の皆様の住みやすさを追求しながら、移住者や観光客の方々にも魅力的な地域と想っていただけのように、まちづくりに取り組んで参る。

潮来市の観光と潮来祇園祭禮について

問 潮来のあやめまつりは、このまま進めて行くのか、昔の賑わいを取り戻すのか、これからどの様にして進めて行くのか？

答 沼田環境経済部長

昭和27年に始まった歴史あるあやめまつりは、今年度で73回目となり、全国から22万人の方にご来場いただいた。近年の観光形態が、団体旅行から個人旅行に変化していることや、交通の利用率が改善され、潮来市においては宿泊型から立ち寄り型に変化している中で、いかに潮来市に滞在をしていただくかが課題と考えている。それに対応するため、水郷潮来嫁入り船、ろ舟運行、園内ライトアップ、市内周遊バスの運行、潮来ばやし演奏、潮来祇園祭禮踊り、あやめ踊り、特産品販売をしている。現在の形態を基本としながら、本市での滞在時間を増やすための方策を関係団体と協議している。

問 水郷潮来藤まつりの規模を大きくしては。

答 沼田環境経済部長

あやめ園内は桜から藤へ、藤からあやめの花へと一連しており、四季おりおりの花を鑑賞できる観光施設でもある。植栽から十数年をかけ素晴らしい花を咲かせるようになった。藤棚の規模拡大については、財源確保の必要性もあり、該当する整備補助事業など調査を研究して参りたい。

問 町おこしの一環でお祭り会館をつくってはいかがか。

答 榊原総務部長

現在のところ総合計画や観光振興計画において、お祭りに特化したハード整備に関する具体的な位置づけはないことから、現段階では新たな施設整備事業を進めることは考えていない。

答 沼田環境経済部長

観光面から潮来市内の伝統ある大きなお祭りとしては、潮来祇園祭禮がある。本年、潮来祇園祭禮は8年ぶりの総曳や茨城

県により無形民族文化財保護を目的とした補助金対象に選定された事で、大きくメディアに取り上げられたことから、躍動感のある潮来祇園祭禮を見るため市内外からたくさんの方々が訪れた。お祭りを目的に来訪する方は展示等ではなく、実際に耳や目で体験することではないかと考えている。引き続きマスコミ、メディア、SNS等に投げかけをして参りたいと考えている。



質問者 ときた 正信 鳩田



一般通告質問 気になるQ&A

市民の皆様にも市の情報の配布・発信を

問 コロナ禍はタウンメールで3回全戸配布した結果、一定の効果があった。効果があつたのであれば、継続していくべきでは？

答 榊原総務部長

全戸配付による効果はあつたが、費用の面から定期的に実施は難しい。

届かない方もいるという件は、おおむね広報紙は届いているものと考えている。広報紙等の取得ができない方の、取得できない原因を今後の課題として調査研究していく。

問 班長をやると、回覧板で広報紙が残って戻ってくる。興味を持ってもらうことが大事。色々な方と話している内に情報版は毎月ではなく特別版の年2回にして本当に必要な情報のみまとめてはどうか。毎月ではないのでポスティング出来るのでは？

答 青柳秘書課長

より多くの市民に手に取って読んでいただける広報紙・情報は

版とするため、行政情報を分かりやすく伝え役立つ情報、旬なイベント情報や市内で活躍する人物など、読者に興味を持っていただけるような特集記事を取り入れるなどの工夫をして読んでいただけるよう心がけていきたい。

問 区長さん方と意見交換した時に、地区担当職員が誰だかわからない、何のためにいるのか、清掃作戦に1回も来たことがないなど、色々な意見があつた。地区担当職員の役割や目的など伝えていくのか？

答 榊原総務部長

年度初めに各担当職員が各区長様のところにご挨拶しているが、ご不在で実際にはお会いできていない事もある。区長さんの中にもそういった方がおられる事を前提にして、今後実質的なこの担当職員制度というものを、どのようにしていったらいいかをさせていくべきかなど、在り方について再度調査研究して改善したい。

まちおこしと、買い物弱者を救う移動スーパ―には地域おこし協力隊が必要！

問 市が運営にかなり携わっている。街のイベントは民間主体が大事。あやめまつり、水郷花火大会の運営も協力隊の方々が集まって意見を出し合つて、観光協会や商工会と連携しながらやっていくべき。協力隊は活動費が年間100万円使える。それを活用しながら新しい事業や変わったイベントを行い一緒に運営しては？

答 河瀬企画政策課長

全面的な運営を任せるには至らない中でも、花火実行委員会と同様に、あやめまつりの実行委員会に参画をさせることは、関係課と実行委員会にご提案させていただければと考えている。

問 潮来市でも移動スーパ―をしてくれる地域おこし協力隊を募集しては？

答 榊原総務部長

市内では移動スーパ―事業を行っている民間事業者の方がおられる。起業支援の場合は、民業圧迫とならないよう配慮が必



あべ けいすけ
阿部 慶介

質問者



要であり、隊員の任期は3年であることから、任期終了後自立していけるよう、隊員任期終了後まで見据えたサポート体制が必要。

問 今自転車等で買物している方も2、3年後、自転車に乗れなくなった場合、買物には来れない。公共交通もしかり、買物で困っている買物弱者の方々の助ける事は近くに迫ってきている。行政だけではなく、協力隊の方々と協力して支援をする。仕入れは地元のスーパ―、車両の補助を行う。そういうことが必要では？

答 河瀬企画政策課長

他市、他自治体の事例など様々あるので、しっかり参考にさせていただきながら、研究のほう進めて参りたい。

一般通告質問 気になるQ&A

潮来市DX推進計画の進捗状況は？

問 本計画の工程表で令和5・6年度試行実施予定と示されている11手続きについて、進捗状況を伺う。

答 箕輪DX戦略室長
〈オンライン化済み〉

国推進の27手続きの内23手続き
(子育て11、介護11、災害1)

企業相談

移住定住相談

採用試験申込(令和6年度から)

キャッシュレス決済

(市税や料金等)

書かない窓口システム

〈オンライン化予定〉

通勤・通学助成申請

(令和6年度)

コワーキングスペース申請

(令和7年度)

女性のがん検診予約

(令和6年度)

〈調整及び検討中〉

子育て相談予約

まちづくり座談会

市議会議員 新年のあいさつ

令和6年第4回12月定例会

議案ピックアップ

一般質問

委員会審査



潮来市で可能な
電子申請手続一覧

八代小学校跡地クリニック開業時期とその後の跡地利用の方針は？

問 現在、八代小学校跡地で進められているクリニック建設の工事、進捗状況を伺う。今年4月の新聞報道では来年度中に開業を目指すということだったが、開業予定はいつか？

答 酒井企業立地戦略室長

事業者である医療法人玉心会様に確認をしたところ、令和7年5月の開業を目指して、現在整備を進めているとのことだった。

問 八代小学校跡地の建物について、小・中学校の統合後の他の学校跡地等へ活動場所を移すことなどは検討していないのか？

答 榎原総務部長

老朽化が進む校舎と体育館は、近い将来使用中止にする必要があると認識している。現在利用中の団体については、他の学校跡地施設への移転可能かどうか、総合計画や地域特性を考慮して今後検討していく。

こども真ん中社会実現に向けて

問 令和11年に予定されている中学校統合については、時間的な余裕もあり、当事者である子どもたちの意見を聞き反映させることが可能ではないか。どのように子どもたちの意見を聞き、取り入れていくのか。

答 吉川学校教育課長

小・中学校の統合に当たっては、これまでも在校児童や生徒だけでなく、市内の認定こども園の保護者にもアンケート調査にご協力いただいていた。令和11年の中学校1校化についても、10月に中学校1校化検討委員会が設置された中で、児童・

生徒からの意見反映の機会をつくっていく。

問 アンケート以外の方法は検討していないか？

答 埴教育長

今後、オンラインで各中学校を結んで代表の生徒から意見を聞いたり、各学校で直接生徒から意見を伺う機会を積極的に取り入れていきたいと考えている。



質問者 和田 直子



一般通告質問 気になるQ&A

(仮称)麻生IC 周辺開発について

問 東関東自動車道路は、令和8年度に全線開通が見込まれている。本市では新たな産業拠点の形成を目指して、開発を進めているが、令和4年から既に700万円余りを支出、今年も800万円の予算を計上。広報いたこ11月号では、3年目を迎えても検討段階としている。工業団地開発は潮来市単独では、当然ながら現実的ではない。茨城県の未来産業基盤プロジェクトに市開発計画が設定されることで大きな前進になるが状況を伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

県プロジェクトは、県内6自治体が利用し、企業立地につなげている。県にエントリーするには事前要件を満たす必要がある。まず進出企業がある程度見込まれ地権者の合意形成が必要要件であると認識している。

再問 開発予定面積、開発費、開発手法は非公表との事。まず、茨城県の未来産業基盤プロジェクトに設定されないと、国や茨城県の支援を受けられない

い。一方、企業側からすると進出を決めた理由の多くは断トツで募集段階でインフラが整えられていること。インター周辺の自治体は未来産業基盤プロジェクトを千載一遇のチャンスとしている。実現化に向けた光を見出すには!!

答 原市長

これまで数百万円の予算を付けて、要件を満たすために積み重ねた。地権者説明会を行ってない段階であるが、県、国への要望や、同時に参入企業の調査を進める。まだ工業団地造成の段階ではなく、準備段階である。高速道路の開通後の数年のうちに目途を付けないとチャンスを逃すので、一生懸命に頑張る。

潮来IC周辺開発 について

問 「スポーツ・観光を核とした交流拠点を目指す」とする潮来IC周辺開発。既に地域連携拠点整備基本構想を策定し、地権者説明会が行われた。プロ野球や地元アントラーズ関連施設の誘致に私たちは大いに期待している。最大で60ha開発は、どのような誘致手法なのか、また

財源の調達方法を伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

事業手法が定まっていない。財源など今の段階では議論に至っていない。今後の課題である。

再問 地域連携拠点整備基本構想は、様々なスポーツ施設、宿泊施設、医療施設、自動運転

技術活用など大きなプロジェクト。PPPやPFIの成功例の横浜スタジアムやガンバ大阪のパナソニックスタジアムに匹敵するような構想。当然ながら潮来市単独は極めて困難。まず、茨城県やアントラーズのホームタウン5市の連携の中で進めていく、調和と連携があつてこそ構想と思うが見解を伺う。

答 原市長

この構想をつくる前から知事をはじめ県関係者に話をしていく。先日、庄司副市長から鹿行5市の副市長に説明し、同構想を共通認識したところである。アントラーズにも了解を取り、進めている。今の段階では、構想に基づいた会議を開いてコンセンサスを深める段階ではないと思っている。

再々問 市民の期待に応えるた



いした ゆうじ
石田 裕二

質問者



答 原市長

諦めないでしっかり開発行為を頑張っていきたい。議会にも時期が来れば相談する。協力を願う。

※1 PPPとは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等図るもの。

※2 PFIとは、PPPの枠組みの一つで、民間の資金や経営能力、技術などを活用し、効率的かつ効果的に公共事業を進めること。

一般通告質問 気になるQ&A

給食費無償化以降の 学校給食について

問 無償化する際には、質や量については落とさないようにすることが絶対条件であった。

答 無償化以降学校給食に関するアンケートを実施したか伺う。

問 吉川学校教育課長
令和4年度以降学校給食に関するアンケートは実施していない。

問 保護者の方々から学校給食に対して意見等を伺ったことはあるか。

答 吉川学校教育課長
保護者に伺う機会はなかったが、児童・生徒からは手紙などで「給食はおいしい」「おいしいことが多い」、量についても「ちょうどよい」「少し多い」などの意見をいただいている。

問 無償化や物価高騰による影響で、質や量など給食内容に不安な保護者がいる。そのためアンケートを実施するべきと思うが。

答 吉川学校教育課長
無償化から3年目、前回と同内容で比較できるので、今年度中には行っていきたい。

問 食材費の負担額を知っていただきたい。無償化以前2期と無償化が始まってから対象食材費と対象人数について伺う。

答 吉川学校教育課長

(単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
食材費	92,717	91,449	99,910	110,493
対象人数	1,886	1,845	1,785	1,762

令和4年度から完全無償化。1人あたりの負担額は増加している。

潮来市の令和7年度の 予算編成方針について

問 令和6年度予算承認から現在まで影響が出ている内容について伺う。

答 榊原総務部長

支出額の約9割相当に影響がでている。

現在の状況は、人事院勧告による人件費の増、社会保障の制度改正による扶助費の増、物価高騰、労務費の増による物件費の増、鹿行広域事務組合の負担

金の増による補助費等の増、介護保険特別会計等への繰出金の増など、予算編成時に想定していた以上の影響が出ている。

問 現在の財政状況と今後の財政見込みについて伺う。

答 榊原総務部長

現在の財政状況は、令和6年度潮来市一般会計補正予算(第6号)が可決した場合、財政調整基金繰入金が3億8,794万8,000円となり、残高が約5億5,400万円見込んでいる。今後の財政見込は、財政調整基金の残高が減少してきている、財政調整基金の繰入を縮減していく。

問 令和7年度の予算編成方針について伺う。

答 榊原総務部長

事務事業の見直しと財政の健全化を第一目標として、財政調整基金が回復するまでは財政調整基金に依存しない予算編成にする。例年、財政調整基金を繰り入れてきたが、このままの状況が続けば、財政運営に支障を来すことが懸念される。関係各課に経常経費の削減も視野に入れ、徹底的な事務事業の見直しと執行実績を基本とした実態に

即した予算要求をするように周知をした。

問 住民サービスに影響が出るようなことはあるか。

答 下河財政課長

市民生活に直接つながる扶助費などは影響を及ぼさないような予算編成にしていきたい。

部活動の地域移行に 関し、補助金支援体制 について

問 地域クラブ事業について、補助金制度、市の支援体制について伺う。

答 吉川学校教育課長

継続的な事業となるように、指導者の確保や研修、報酬、運営費、地域クラブの育成など、潮来市地域クラブ活動推進委員会検討して参りたいと考えている。



質問者 かねひら 兼平



なおき 直紀

一般通告質問 気になるQ&A

なめがた地域医療 センターについて

問 市としての支出金は。

答 実川市民福祉部長

総額3億4,109万2,000円。

問 存続について、市としてどのような考えがあるか。

答 実川市民福祉部長

現行の外来診療の体制を維持し、地域医療の役割を果たしてもらいたいと考えている。

再問 2000年に県・地元市町村、農協等から40億円等の財政支援を受けて、鹿行地域緊急医療機関総合病院として、大きな期待とともに建てられた公的医療機関である。2019年、2021年と機能縮小になり、現在は緊急医療受入れと入院機能は停止している。

緊急病院の復活は大変必要だと思うが、潮来市としての考えは？

答 実川市民福祉部長

救急医療受入れは千葉県の病院だと一度診察履歴がないとな

かなか難しい。潮来保健所において連携協議をしている。

潮来インター周辺の 開発について

問 7月に行った地権者、耕作者へのアンケートの結果は。

答 酒井企業立地戦略室長

地権者133名の内60名から回答があり、おおむね事業に協力いただける内容であった。

問 開発の概要、予算、予定について伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

基本構想では、3つのゾーン（スポーツ賑わいゾーン、都市公園ゾーン、観光交流施設ゾーン）に分けて整理している。それぞれの整備方針や考え方に基づく施設を整備し、道の駅いたこや前川運動公園等との連携により機能強化を図っていく。予算については試算していない。整備手法の検討と併せて事業費等の整理を進めていく。今後は、開発にご協力いただけるパートナー企業の選定作業につなげて参りたい。

イノシシ対策について

問 児童・生徒の命を守る安全



潮来IC周辺地区

問 10月1日に発表された千葉ロッテマリーンズ・ファーム本拠地の誘致について、潮来IC周辺開発と分けて捉えるべきか、一体的と捉えるべきか伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

ファーム本拠地誘致の対象区域については公表していない。このため、潮来IC周辺の開発とは切り離して捉えていただきたい。

対策について伺う。

答 吉川学校教育課長

市民より通報があった場合、環境課と情報共有を図り警察へのパトロール強化の依頼をしている。学校では、児童・生徒、保護者へ環境課作成のイノシシへの正しい対処法のパンフレットを用い、注意喚起や通学路の変更、教職員による立哨指導をしている。保護者に対しては、学校からのメール配信システムにより連絡を行っている。イノシシの嫌う忌避剤の散布を定期的の実施、また登下校時刻にあわせてパトロールを実施している。津知小学校では、グラウンド内と通学路へのネットフェンスの設置を行っている。



た さき きよし
田 崎 清

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

「期日前投票所」の増設を！

問 公民館や商業施設で検討してはいかがか。

答 榊原総務部長

期日前投票所の増設については、投票率向上のためにも有効な手段の一つと考えているので、引き続き前向きに研究して参りたいと考えている。

潮来市役所内に期日前投票所を設置しようとする場合、現在の設置場所以外には適地がないので、現在のスペースをより有効活用できるようなレイアウトの見直しなどについても取り組んで参る。

「軟骨伝導イヤホン」の導入を！

問 高齢福祉課等の窓口を導入してはどうか。

答 実川市民福祉部長

軟骨伝導イヤホンは、加齢な

どにより耳が聞こえにくい方との意思疎通を図り、円滑に行政手続を進める上で有効な手段であると考えている。既に神栖市が導入しており、状況を確認しながら導入に向け検討して参りたいと考えている。



神栖市で導入した軟骨伝導イヤホン

AED(自動体外式除細動器)の普及拡大を！

問 設置状況と今後の取り組みは。

答 榊原総務部長

市内にある大型商業施設並び

にコンビニエンスストアに設置されているAEDの設置状況を確認したところ、スーパー、ドラッグストアに市内10か所中4か所、コンビニエンスストアに市内10か所中1か所という状況であった。

今後のAED普及については、屋外設置の調査研究も含め、既に設置しているAEDの活用を想定した訓練を潮来市消防署と連携を図りながら取り組んでいく。

耳で聞く「ハザードマップ」の導入を！

問 高齢者や視覚障がい者に音声データを検討しては。

答 実川市民福祉部長

災害情報の音声データの公開については、県内では土浦市がホームページで「聴こえるハザードマップ」と題して公開している。そのほか、アプリや2次元バーコードの利用例なども

あるので、先行している自治体を参考にしながら、高齢者、障がい者のニーズを把握し、災害情報を分かりやすく伝達する音声データ等や活用方法について、関係機関と連携し、調査研究していく。



質問者 ひら た けんぞう
平田 健三



一般通告質問 気になるQ&A

5年後の中学校の統合 一校化校地はどこに？

問 市として重点を置く校地の選定基準を伺う。

答 吉川学校教育課長

選定基準の詳細は決まっていが、一校化検討委員会からの要望内容や学校やPTA、保護者、生徒会や市内小学校各校からのご意見をお聞きした上で幅広く総合的に判断させていた

問 今回の計画において、財政面ということで既存校舎を最大限活用するのであれば、仮に一校化の校地を潮来一中とすれば、日の出中の校舎を日の出小が活用、潮来二中の校舎を延方小が活用できる。既存校舎の利活用について市の考えを伺う。

答 吉川学校教育課長

統合によって空き校舎になった場合には、市の別の部署で考えていくことになる。

問 一校化が5年後の令和11年4月であるが既存校舎を活用する計画であるため、多額の大規模改修費用がかかり始める時期になるが、次の新設中学校の

建設も視野に検討する必要があると思うが、20年、30年後のビジョンを伺う。

答 吉川学校教育課長

市内の3つの中学校においては、全て鉄筋コンクリートであり、建物的に70年はもつ。メンテナンスをしながらできるだけ長く大切に使用していきたい。それを子どもたちに見せるのも教育の一環だと考えている。

問 先行統合で牛堀中が潮来一中へ行くことになっているが、その3年後の一校化の統合先は決まっておらず、日の出中もしくは潮来二中になる可能性があることを説明会等で知らせているか伺う。

答 吉川学校教育課長

説明会においても、いろいろな声をいただいているので、子どもたちがよりよい環境で学習できるように、周知していきたいと考えている。

問 一校化の校地を早期に決めることは先行統合でかかる潮来一中の整備費用についても効率よく集中的に若しくは最小限の投資をしていくことに繋がると思うが如何か。

答 埴教育長

先日の検討委員会でも十分説明をさせていただいた。それぞれの安心安全の学校づくりというところで、たくさん意見をいただいた。総合的に考え、早急に無理のないように決めていきたいと考えている。

改めて津知小学校の跡地 利用について考える

問 津知小学校は潮来市の中心に位置しており、すぐそばを国道51号バイパスが通る計画となっている。幹線道路の整備により利便性がかなり向上する市有地である。津知小学校の敷地は約4万平方メートルあるが、そのほぼ中心の5千平方メートルを切り取って保健所が来る計画になっている。統合中学校の建設候補地にもあり、他有効活用できる土地でもあるが、その先の計画があるのか伺う。

答 榊原総務部長

現時点において保健所移転以外の計画は持っていない。今後の活用については津知地区の方々含め市民の方々のご意見やご意向を伺いながら決めていきたい。



とおる 佐々木 ささき 質問者

103万円の 壁について

問 年収103万円を超えると所得税が課せられる。103万円の壁の見直しをめぐり控除額が仮に178万円まで引き上げられた場合、潮来市は年間どれほどの減収になるのか伺う。

答 榊原総務部長

おおよその試算であるが、人数では現在の約1万3,800人から約5,900人減の約7,900人になり、市民税では令和5年度決算ベースとなるが、約13億2,700万円から約4億5,800万円減の約8億6,900万円となると予想している。



質問者

一般通告質問 気になるQ&A

公共交通空白地域を 回るコミュニティバス 実証運行について

問 コミュニティバス実証運行の広報活動について伺う。

答 榊原総務部長

潮来市ホームページへの掲載及び潮来市公式SNS、広報いたこ11月号への情報掲載、区長回覧において広報チラシの全戸配布を行った。また、各地区公民館及び公共施設等に広報チラシの配架を行った。

問 実証運行の実態把握について伺う。

答 榊原総務部長

利用実態については、乗務員が乗降者数を記入するシートを活用し、乗降日、乗降時間帯、乗降客数、乗降場所等の記録を行うとともに、利用者アンケートの実施により利用実態の把握を行い、事業の検証を進めている。

再問 担当者がコミュニティバスに乗車しての実態把握について伺う。

答 原市長

まさしく実際に担当者が乗車して、運転手、乗客の皆さんのご意見を聴くというのは非常に大事なことである。今後、職員が実際に乗車し、職員が確認するようにしていく。

問 本格的な運行に向けた計画について伺う。

答 榊原総務部長

今後については、現時点で具体的な計画には至っていないが、今回の実証運行の成果やアンケートの結果等を基に、潮来市地域公共交通活性化協議会の中で本格運行に向けた検討を行っている。

潮来市立図書館駐車 場への車両の出入り について

問 県道5号線から図書館に向かう道路が狭く、車両が進行するのに大変危険である。現在、旧牛堀第一小正門跡が車両通行止めになっているが、車両の進入ができるようにしてはどうか伺う。

答 大崎生涯学習課長

旧牛堀第一小学校正門跡部分を開放し、車両通行ができるようにする場合、図書館の駐車場

側から県道5号線へ通じる市道は車両1台分の道路幅であり、擦れ違いができない状況である。

再問 旧牛堀第一小正門跡を入り口専用（一方通行）としてはどうか伺う。

答 大崎生涯学習課長

車止めを開放して通行させる際には、警察や関係機関との協議を行い、安全性が保てるかどうか、問題がないかどうかを確認しながら、研究をしていく。



旧牛堀第一小正門跡

増え続けるイノシシ への対応について

問 増え続けるイノシシにどのような対応を強化していくのか伺う。

答 沼田環境経済部長

市民からの通報や関連機関と連携を図りながら情報の収集を行い、潮来猟友会と情報を共有し、罠等の設置を行い、捕獲、駆除に努めていく。また、農作物被害防止対策としても、電気柵の購入補助の内容等について周知を図り、電気柵の設置を促していく。

再問 イノシシ対応に人的・物的にも不足している現状にどう取り組むのか伺う。

答 篠塚農政課長

人的不足については、今後の課題として調査、研究をしていく。また、物的不足については、猟友会からの要望等を伺いながら、箱罠・くくり罠など、準備していく。



質問者 しまら 志 村 一 はじめ



一般通告質問 気になるQ&A

潮来市デイサービスセンター白鳥の今後の方針について

問 施設の利用状況を伺う。
答 実川市民福祉部長

直近の施設の利用状況は、登録者75名中、要介護認定者が52名、要支援認定者が12名の合計64名。一日あたりの平均利用者は25名から28名の方が利用されている。

問 施設の現状と課題について伺う。

答 実川市民福祉部長

社会福祉法人至福会様が経営上の理由により、令和7年度以降の指定管理者を辞退されたこと、また公募型プロポーザルを実施したが応募がなかったことにより来年度以降のデイサービス運営等の見通しが未だ立っていない。

問 今後の方針と利用者への対応について伺う。

答 実川市民福祉部長

引き続き潮来市老人デイサービスセンター白鳥のサービスを継続させるため、公募型プロポーザルにより再公募を実施

し、利用者への対応についても現指定管理者である社会福祉法人至福会や白鳥を利用している方々のケアマネジャーと連携を図りながら対応を行って参る。

再問 利用者や家族から現在のスタッフに対し、信頼関係が築かれており、万が一、継続あるいは新規の応募者が困難であった場合は、市民や利用者の心のケア、不安を払拭し、円滑に移行できるように努めてもらいたいかがか。

答 大川高齢福祉課長

できる範囲の中で、協力できる部分については、家族また利用者様に寄り添いながら対応させていただく。

地域防災に関わる避難行動要支援者の個別避難計画について

問 現状をどのように認識しているか伺う。

答 実川市民福祉部長

茨城県では令和8年度までに計画作成の優先度が高い洪水ハザード内の要支援者に対する個別避難計画の作成が完了できるように取組みを進めている。

潮来市は洪水ハザード内の避難行動要支援者336名に対して126名の計画を作成し、作成率は37.5%となっており、引き続き計画作成に努めていく。

問 今後の取組みについて伺う。

答 実川市民福祉部長

避難行動要支援者名簿記載に同意いただいた方について計画作成を進めるとともに、名簿記載について回答をいただいていない方の確認等を進めていく。

敬老会事業について

問 今年度の計画に対する実績を伺う。

答 実川市民福祉部長

各区が行う敬老会事業を支援するため、市補助金として380万円の予算のうち、23区に対し92万5,892円、また本市における記念品配布をする事業として予算131万1千円のうち、88歳が159名及び100歳以上26名の高齢者の方々に対して91万4,605円を支出した。



くろす としゆき
黒須 俊行

質問者



問 アンケート実施結果について伺う。

答 実川市民福祉部長

各区长66区に対して60地区から回答があり、「本年度敬老会を実施されましたか」に対し、実施40地区、未実施17地区、開催予定3地区。

「補助金を活用しましたか」に対し、活用18地区、未活用22地区、活用予定3地区。

また、補助金を活用しなかった39地区の理由については、記念品が対象外のため21地区、参加見込みがない6地区、その他12地区であった。

アンケート結果を重く受け止めながら補助金事業を中心にどうあるべきか来年度に向けて見直して参る。

委員会審査

各委員会に付託された議案等を審議

教育福祉経済委員会

付託された案件：条例改正 2件
補正予算 3件
その他 5件

主な質疑

潮来市運動施設条例の一部改正について

問 使用料の値上げにあたり、その基準や算出根拠は？

答 近隣市町村を参考にしたものもあるが、近隣市との使用料の差がでており、維持管理や修繕が一般会計から出る場合が多いため、受益者負担の観点から算出した。

再問 維持管理は、個別の見積もりではなく、年間を通して見積もっているのか。

答 前川運動公園、日の出グラウンド、かすみの郷公園、軟式・硬式テニスコートの使用頻度によるもので、特に前川運動公園は芝生の管理、テニスコートはネット等の管理がある。

令和6年度潮来市一般会計補正予算(第6号)
〔所管科目〕

問 9款：教育費 3項：中学校費 2目：教育振興費
17節 備品購入費 77万7千円

パソコン教室のパーテンションの購入費ということだったが、学校の統合に向けた購入か。

答 潮来第一中学校で開設されたフリースクール用に購入するもの。空き教室にパーテンションを設置し、生徒のプライバシー等を守るためのものである。

所管に関する質問

問 1校化の校地は3つの中学校の中からゼロベースで考えるということだが、案を持っていないということか。

答 各校舎の建築年数を基準にした修繕や教室数に対するクラス数についての考えは持っている。

意見書について

継続審査となっている「鹿行地域の医療体制の充実を要請するための意見書」については、引き続き継続審査となりました。

総務建設委員会

付託された案件：承認 1件
条例改正 2件
補正予算 1件
その他 3件

主な質疑

令和6年度潮来市一般会計補正予算(第6号)
〔所管科目〕

問 2款：総務費 1項：総務管理費 7目：企画費 12節：委託料 705万7千円

測量委託について面積はどこまでを含めて65,000㎡なのか伺う。

答 津知小学校及び周辺の土地全体の起伏の状況、標高、校舎、体育館、周辺道路部分も含めて65,000㎡で全体の現況測量である。65,000㎡の面積は令和5年度に明許繰越をした地形測量、現況測量をしたもの。

再問 以前の測量で使用した645万円は、今回の測量委託とは全くの別物か。

答 令和5年度の地形測量、現況測量は65,000㎡が学校敷地全体の地形図で、今後の学校の跡地利用の検討を含めた基礎資料として周辺道路を含めた全体の地形図を作った。それが65,000㎡で645万円を支出。今回の用地測量、確定測量は上部グラウンド、隣接地を含めて県が必要とする5,000㎡を出す。そこを含め確定していく調査である。そのため前回のものとは全く違うものである。

所管に関する質問

問 水郷潮来バスターミナルについて、駐車場を増設したことによって、どれくらいの投資効果があったか。

答 コロナ禍に比べ、土日を中心に利用は増えてきた。利用者等の意見を聴きながら長期的な視点で管理運営していく。

12月17日及び18日の委員会での結果を議会最終日に各委員長が報告しました



総務建設委員会視察研修

■視察先 茨城県ひたちなか市・常総市

■視察日 令和6年10月17日（木）

■目的

ひたちなか市：空き家対策の取り組みについて

常総市：アグリサイエンスバレー構想について

（圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業）

■内容

ひたちなか市では、空き家の「発生の抑制」策として、啓発、地域住民・遠方に居住する所有者等に配慮した相談機会の提供など参考になる対策が多くあった。また「適正な管理がなされていない状態の解消」については法令・条例をもとに、市独自の調査票を作成し状態を詳細に把握していた。

常総市では、官民連携体制（PPP）による事業の成功事例の研修で、公共のメリットとして行政課題の解決、コスト削減、事業の実効性が挙げられる。当市にとっても企業誘致、インターチェンジ周辺地域整備事業を進めるうえで、有効な手法であり参考になった。



NEXT

次の定例会は

3月4日（火）

開会予定

会期日程は、ホームページをご覧ください。

傍聴してみませんか？

市議会では、市民のみなさんの生活に直結した重要な問題が審議されています。

議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひお越しください。

開催日当日、2階総務課で受付しています。

※基本的な感染症対策にご協力をお願いいたします。

議会を読もう

議会だよりは、年4回定例会（3月、6月、9月、12月）後の4月、7月、10月、1月に発行します。

各区で配布されたり、市内のコンビニ、銀行、公共施設（図書館や公民館）にもございますので、ぜひご覧ください。

表紙の説明

四市議会親睦交流グラウンドゴルフ大会

11月12日（火）に道の駅いたこグラウンドゴルフ場にて、香取市・鹿嶋市・神栖市・潮来市の議員親睦交流会を開催しました。時折歓声が上がるなど大いに盛り上がり、議員同士の親睦が深められました。

議会広報編集委員会

委員長 和田 直子
副委員長 吉川 利一
委員 黒須 俊行
委員 鶴田 正信
委員 志村 一
委員 兼平 直紀

早いもので私自身、市議会議員として船出し、一年を迎えようとしております。

議員としての職務は当然ながら、長年潮来に住んでいながらも、見えていなかったことや経験をするはずもなかったことを目の当たりにし、身をもって感じるものが出来、大変刺激になりました。

潮来市にも新しい風を吹かせ、再生する力が必要です。

そのためには潮来市民の皆様「お声」が重要なのです。

私もこれからも新しいことに臆することなく挑戦して参りたいと思いますのでご意見ご感想を是非ともお寄せください。

安心、安全に暮らせる、あらゆる世代に優しい街にしていきたいです。

広報編集委員 鶴田 正信

編集後記……